平成22年度 石狩市教育委員会会議（2月定例会）会議録

平成23年2月24日（木）
第2委員会室

開会 午後 3時30分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
委員長 中村 照男	○	/	
委員 伊藤 好美	○	/	
委員 土井 久美子	○	/	
委員 門馬 富士子	○	/	
教育長 樋口 幸廣	○	/	

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	三 国 義 達
理事（市民図書館長）	百 井 宏 己
管理課長	新 関 正 典
学校教育課長	池 田 幸 夫
社会教育課長	東 信 也
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	成 田 和 幸
浜益生涯学習課長	新 井 春 生
教育支援センター長	三 浦 高 行
市民図書館副館長	丹 羽 秀 人
学校給食センター長	桜 田 雅 人
管理課教育総務担当主査	寺 嶋 英 樹

開会宣告

(中村委員長) ただいまから、平成22年度教育委員会会議2月定例会を開会します。

日程第1 会議録署名委員の指名

(中村委員長) 日程第1 会議録署名委員を指名します。土井委員にお願いします。

日程第2 議案審議

(中村委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号乃至議案第3号の審議を秘密会とする件について

(中村委員長) 議案第1号 平成22年度一般会計補正予算(第9号補正)に関する件、議案第2号 平成23年度一般会計予算に関する件、議案第3号 石狩市条例の整備に関する条例(石狩市公民館条例の一部改正)に関する件については、いずれも教育委員会会議規則第15条第1項第5号に該当し、追加議案として提出されている報告第2号 交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定に関する件についても、教育委員会会議規則第15条第1項第1号に該当しますので、秘密会として後ほど審議いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定しました。

議案第4号 石狩市教育委員会特定事業主行動計画(後期計画)について

(中村委員長) 議案第4号「石狩市教育委員会特定事業主行動計画(後期計画)について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、別紙のとおり決定したいので、石狩市教育委員会事務委任規則第2条の規定に基づき議決を求めるものであります。

(池田課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま提案説明ありました議案第4号について、ご質疑等ありませんか。

質疑応答

(伊藤委員) 時間外勤務の縮減等ですが、多分前期だと思うのですが、中学校に特化しているのかと思うのですが、部活動に携わっている先生方の勤務時間の内容で、色々な調査や取り組みを行ってきたところだと思いますが、その結果なり数字ですとかそういったものは現時点ではとらえられているものはないですか。

(池田課長) 伊藤委員のおっしゃるところは、色々この調査アンケートによる勤務時間の軽減の度合いだとか、こういったものだと承知いたします。それぞれ道教委におきまして各種の取り組み、たくさんの取り組みがございまして、例えば部活動の一定程度休みを作ることを、それぞれの対戦相手になる学校同士のなかでもしっかり皆で休もうという取組を進めようだとか、また部活動におきまして、今年度9月から国の研究事業で石狩中学校においてモデル授業の一環といたしまして、部活指導員活用授業というのを試験的に行いました。この部活指導員活用授業は、通常的外部指導員活用授業と違ひまして、より中身を使いやすくしたもので、顧問の先生が必ず付いていないといけない部活動、これは安全対策も含めて現在そういう情勢になってはいますが、これを複数の部をある一定の先生、これは石狩の場合は、実は、時間外講師扱いで使わせていただきましたが、一人で複数の部を持つことで、顧問の先生の時間外を軽減しようとするものであります。それぞれの取り組みにつきましては、現在各学校に定期的に調査をかけているところがございます。今年度につきましては、現在道教委の方で取りまとめ中というところで、現在、私の手元には持ち合わせがないことをご理解いただきたいと思います。少しずつ成果が上がっていることを報告させていただきます。

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第4号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第4号については、原案どおり可決しました。

議案第5号 石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について

(中村委員長) 議案第5号「石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、奨学金支給時期の見直しに伴い、石狩市教育

委員会事務委任規則第1条第3号の規定に基づき、議決を求めるものであります。
(池田課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま提案説明ありました議案第5号について、ご質疑等ありませんか。

質疑応答

(土井委員) 前回の会議のこういう情報を教えていただきまして、ありがとうございました。そのなかで奨学金が年に2回に分けて支給したという話があって、7月と12月だったと記憶していますが、年1回支給するようになった場合には大体早い時期というと7月に1回くらいというようになるのでしょうか。

(池田課長) 残念ながら初回の支給の時期は、7月になってしまいます。ご理解いただきたいと思います。

(中村委員長) 他に、質疑等がないようですので、議案第5号については、原案どおり可決ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第5号については、原案どおり可決しました。

議案第6号 石狩市学び交流センター条例施行期日を定める規則の制定について

(中村委員長) 議案第6号「石狩市学び交流センター条例施行期日を定める規則の制定について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、石狩市学び交流センター条例の施行期日を定めるため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第3号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

(東課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま提案説明ありました議案第6号について、ご質疑等ありませんか。

質疑応答 なし

(中村委員長) ご質疑等がないようですので、議案第6号について、原案どおり可決ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第6号については、原案どおり可決しました。

議案第7号 石狩市学び交流センター条例施行規則の制定について

(中村委員長) 議案第7号「石狩市学び交流センター条例施行規則の制定について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、石狩市学び交流センター条例の施行に必要な事項を定めるため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第3号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

(東課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま提案説明ありました議案第7号について、ご質疑等ありませんか。

質疑応答

(伊藤委員) 確認ですけど、他のこういった施設と学び交流センターが違っているところは特段ないですね。

(東課長) 基本的にはオーソドックスといえますか、他の施設と同等のかたちでこの規則を定めようとするものであります。

(土井委員) 認識不足だったかもしれませんが、休館日が火曜日になっていますね。これはどういうことで決定したのでしょうか。

(東課長) ご承知の部分もあるかと思いますが、公民館の方も実は火曜日が休館日ということで統一をさせていただいてございまして、その流れということもございまして学び交流センターも同様の火曜日を休館日と制定しようということでございます。

(中村委員長) 5頁第3条第2項の使用料の納入についてであります。下から2行目に「使用料を納入させた上」という表現がありますが、古い言葉づかいはできるだけ避け、「使用料の納入を確認の上」などとする表現方法もあろうかと思っておりますので、研究していただければと思います。

(東課長) 今、他の条例を確認しておりますが、同等の表現ということで記載していない状況にございますので、他の条文を参考にしながらこの規則を作ったという形で理解をしているのですが、ご指摘いただいた、一般的な感覚として市民の方がご利用いただくにあたっての文言の使い方が適正かどうかについて、再度

確認させていただきたいと思います。

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第7号については、文言の使い方が適正かどうかについて確認の上、所要の措置を取っていただくこととし、可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第7号については、その旨の措置をとることで可決しました。

報告第1号 石狩市特定事業主行動計画（後期計画）について

(中村委員長) 報告第1号「石狩市特定事業主行動計画（後期計画）について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、平成22年6月24日付けで共同策定することで同意をいただいている石狩市特定事業主行動計画について、別添のとおり策定されたため、報告するものであります。

(新関課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま提案説明ありました報告第1号について、ご質疑等ありませんか。

質疑応答

(伊藤委員) 先ほど課長が言っていた6頁、会議の勤務時間内実施の関係で、前段で電子メールの活用というのがあるのですが、私らの教育委員に対して、人数はこれしかいないので積極的に使ってくれということではないのですが、もし検討いただいてやり取り出来るようなものであれば電話でよりは、メールでどうでしょうということも検討していただければ、また、色んな方向で広がるのかと思いますので、お願いできればと思います。

(土井委員) 4頁の育休体験発表会の開催は、大変先進的な取組をしていると思ったのですが、この職員セミナー1回開催したということですが、そのときの様子とか、どのような感じだったのでしょうか。

(新関課長) 男性職員が1名取得しまして、その者が発表したということで若い職員中心に集めて、開催したというように聞いています。

(中村委員長) この後期計画が、この4月から実施ということでありまして。教育委員会会議については、出来る限り時間内に終了で出来るよう努めてきたところ

であります、これまでは委員構成の関係もあり基本的に2時半から開催しておりましたが、現体制の下では1時間早め1時半から開催することが可能であります。事務局体制のこともあるでしょうから4月から実施出来るようご検討いただきたいと思っております。

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、報告第1号については、原案どおり了承ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、報告第1号については、原案どおり了承しました。

(中村委員長) 以上で、日程第2 議案審議を終了します。

日程第3 教育長報告

(中村委員長) 日程第3 教育長報告を議題とします。

(中村委員長) 教育長から報告をお願いします。

(樋口教育長)

- 1月31日 学校給食運営委員会
- 2月 5日 花川南地区健全育成協議会 児童・生徒意見発表会
- 2月 8日 管内いじめ・不登校等対策本部会議
- 2月15日 生振小学校との外国語活動意見交換会
- 2月16日 家庭教育支援講演会「ネットトラブルの防止」
- 2月21日 シニアプラザ「はまなす学園」修了証書授与式
- 定例教頭会
 - ・人事について
 - ・国旗・国歌について
 - ・年度末の留意事項など
- 2月22日 定例校長会
 - ・人事について
 - ・学校評価の活用などについて

(中村委員長) ただいま教育長から報告がありました、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(伊藤委員) 22日の校長会で、学校評価のお話をされたということですが、私は、北中の学校評価の委員をやっています、これはすでに会議は終わっているのですが、形骸化というか、年2回程度各学校少なくともやっているようなのですが、どのように役に立てられているのか、なにかそういったものというのは何年か経っていると思うのですが、率直なところどうなのでしょう。

(樋口教育長) 各学校が制度に基づいて行わなければならないものですから、同じ行わなければならないものをやはり形骸化をさせないで、それぞれの学校が課題をしっかりと認識しながら行っていただきたいという内容では話をさせていただいております。各学校においては二極化している、本当に真剣に学校課題のようなものを保護者アンケートあるいは、子供たちのアンケートから、ある面では宝の山のようなものの中からしっかりと学校課題を見つけて、どう改革をしていくかというように使っている学校と、一部やはり少し、なおざりになっている部分も率直にあると思っています。同じようなことで評価をして、今年1年のそれぞれ学校が選んできたものを学校評価とするわけですから、その中からしっかりと課題を見つけて明年度、それをどう改革していくか、それをどう教職員に意識づけていくか、しっかりと校長が考えて利活用していただきたいと思っております、そういう趣旨で話しておりますし、これからもそういう形で利活用していかなければ、本当に無意味なものになってしまうのではないかなと思っております。

(土井委員) 私も当事者でしたので、各学校評価はしなければならないものと考えてはいないです。つまり、学校の評価項目も全部、各先生方に決めて出してもらう。それと全体でアンケートというか、評価をかなり長い期間やるのですね。それをまた長い期間2月頃から会議を始めます。その会議までに集約全部するのです。結構な体力使うのです。つまり、次の年度どのように学校を良くしていくか、それから、父母の意見を聞きながら、冬休み中にあるいは夏休み中に親へのアンケートを取る、そういうような形でかなり詳しくやっていますね。今までもずっとそうでしたけど。形骸化されているように見えるというのは問題がありますよね。ただ、どこの学校でもそれは次の年度、学力向上なりあるいは、子供たちはいじめ、不登校の問題など抱えていますから、そういう問題についての詳しい学校としてどうだったのだろうと、改善していくところはないだろうか、というのが学校評価ですよ。ですから、形骸化されているとしたら大変な問題ですので、この学校評価については、かなり学校の今後の課題をしっかりと把握する面

で大変重要な役割を持っているものなのですね。それで、今の期間先生方は結構大変な時期で学校課題を解決し、次年度の方針を立てるのに、今もう終わったかな、だいたい冬休み中に結構かけてやっているというのが実態なのです。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは教育長報告を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 協議事項

(中村委員長) 日程第4 協議事項を議題とします。

① 全国学力・学習状況調査結果の数値公表について

(中村委員長) ①全国学力・学習状況調査結果の数値公表について、事務局から説明をお願いします。

(三国部長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) 本件につきましては、私の方から少しご説明申し上げたほうが良いかと思えます。皆様もご記憶におありのように、前回23年の学力テストに参加するにあたって、道教委からのアンケート調査で、課題があるとすればメリットデメリットを示していただきたい旨申し上げました。今回、丁寧に整理していただき感謝しています。本来ならばこれを徹底的に議論して23年度参加するかどうかについて議論すべきところなのですが、道教委からどうしてこの様なアンケートが出てきたのか不思議に思い、今日の委員会で、議論をしっかり展開するためにも私自身が十分理解したうえ、進めていく必要があると考え、2月3日に道教委の倉島教育次長を訪問し、梶浦義務教育課長を含め情報交換の場で、どうしてあの様な調査をすることになったのかをお尋ねしたところ、道議会での議論を踏まえてアンケート調査を実施したものであり、学校名の公表と23年度学力学習調査の実施と切り離してくださいとのことでありました。学校名を公表することについては、市教委の皆さんにしてみればいかなものかという思いがあって、それらについて、現時点で良いとも悪いとも言えないということで、回答をお出しになっておりましたので前回議論が始まったのですが、道教委の権限ある人からの説明では、私どもが受け止めたようなことではなく、23年度も22年度と同じように純粹に参加するか否かと、アンケート調査は全く別物で切り離してくださいとのこと。また、23年度の学力学習調査について、文科省では昨年と同じと言っており、道教委としても一切変更を考えていないとのことでした。

従いまして、この度のメリットデメリットについては、今後いろんな議論を深めていただくために非常に役に立つ素材でありますけれども、限られた時間の中で論じる必要がないということを確認して帰ってきたのであります。まず、その点を皆さんにお話したうえで議事を進めるのが適切かと思いましたので、補足説明をさせていただきました。新たに確約書を結ぶ必要性もなく道の予算で23年度も実施できるわけですから、私は大いに参加していただきたいと思います。そんなことを含めて意見交換していただければと思います。

(土井委員) 本当に変わらないということですか。例えば、去年の調査分析については、道が持っていただけでしたね。それも変わらないのですか。そういう予算付けは、もう決まっているのですか。

(中村委員長) 道教委では、国の雇用対策事業を活用して今年もやれるということでした。23年度に参加するかしないかの結論を今日出してもらわないと困るとというのが道教委の説明でした。私としては特段、市の財源を要しないので、昨年同様に実施してやっていただければと思います。

(伊藤委員) 内容は非常にわかりました。先ほど、補足で部長が市P連の前回の会議の中で出ていた、親なり意見うんぬんというなかで聞いてきていただいたので、これはこれとしてせっかく聞いていただいた意見ですし、このあとも、また、そういった機会があるとすればことあるごとに、親なり意見を聞いて、また、次年度の講評の時に、継続して使っていただければ、良い講評が出来るのではないかと思われるので、そのへんだけ、お願いしていただければいいかなという感じがしますので、よろしくお願いします。

(土井委員) 私が前にちょっとお話した、19年度に6年生でやった子が22年度は、中3ですね。ということは、それとの比較といいますか、数学と国語、そのデータがあればいいなとお話したと思うのですが、その時の学力が、中3になったときにどれだけ高まっているのかなというのが、見たいと言ったような気がするのですが、そういうのは出来ないものでしょうかね。そういうことを含めて、ある程度そういうデータがあると力の入れるところ、あるいはこれから課題とか、見えてくるかと思うのですけど。

(三国部長) データなので、基本的に統計データの考えからきているところがありますので、データをどんどん蓄積したらしたなりに、色々分析として使えると思います。

(門馬委員) 委員長のおっしゃったことはわかったのですが、それならば1月14日付の文書は、何だったのだろうという疑問がわきますね。これは何のために出したのか、よく分からなくなってしまうですね。

(中村委員長) 市教委が局から聞かされた話と、私が道教委幹部から受けた説明との間に温度差があったのではなかろうかとの思いはありますが、道議会の議論

の経過を踏まえてアンケート調査を実施したことだけは、はっきりしております。議会議論の過程では、質問者のお立場なり会派の意見等を踏まえながら議論が展開され、アンケート調査のやり方についても様々な思いが交差し、このような仮にという形でつっこんだアンケート調査になってしまったのでなかろうかと推察しております。

(門馬委員) 結果は良かったのですが、大変迷惑をかけられたという気がいたします。

(中村委員長) 石狩市教委は、問題をきちっと受け止め、立派な球返しをしたと思っています。道教委では市町村教委から「とんでもございません」という意見も寄せられており、どの様なアンケートがきても恐れないとのことでした。

(門馬委員) そこらへんをきちっと文書でやっていただけると我々も悩まないで、事務局も悩まないで済んだのかもしれないですね。

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、協議事項の①については、了解ということよろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、協議事項の①については、原案どおり了解しました。

② 小学校外国語活動について

(中村委員長) ②小学校外国語活動について、事務局から説明をお願いします。

(池田課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(中村委員長) 私どもが最重要政策として展開してきた小学校外国語活動について、先の学校訪問の際に今後の授業展開に不安を感じている先生もおられたので、支援の在り方についてご検討をお願いしたところ、早速今後の課題と支援方策について整理してくださいまして感謝しています。この様に自ら政策を評価し、今後どうする必要があるかを明らかにして行くプロセスが大事でありますので、これからも宜しく申し上げます。

(土井委員) 5頁の八幡小の連絡会議とか、浜益小に書いてある市内英語推進にかわる委員会が必要、そういう面で、石教振の方で結構進められてはいると思うのですが、総合学習のときもそうでしたし、生活科の時もそうでしたけれども、なかなか部会を新しくたてるには、皆さんのアンケートから始まり、体制の確立まで2～3年、5年くらいかかるのかというようなことがありますので、今、23年度から完全実施というか、その中での先生たちの努力がこれから大変必要になると思うのですが、教育委員会としてはこの連絡会議とか、委員会を設置できないものかと考えました。

(池田課長) 八幡小の佐藤先生とは、幾度となく意見交換をしてきましたが、今回の資料に、出させてもらったようなご意見もございましたし、また、先生の中では、NPO教育支援協会北海道の方々との意見交換の中で、こうした協議の場が必要であるというのが出されていたということは承知してございます。学校教育課長の立場といたしまして、実は、教員の時間外も話題になったところでございまして、やはり会議の効率化、会議自体を絞るということが念頭にございまして、出来れば既存の組織団体が、それぞれのタイミングにおいて、検討する案件という部分を変化していただきたいと願っております。現在、石教振の緑苑台小学校の工藤校長、工藤会長に、この辺の取り組みについては、投げかけさせておまして、先日、英語部会でこの小学校の英語、外国語活動も含めて、また、小学校から中学校に移行する際の子供たちの外国語のスムーズな連携を英語部会で受けさせていただきたいというお話をいただいているところであります。ある意味、この外国語活動が石教振の活性化になっていただければという気持ちもございまして、新設よりも既存の中でやっていければと考えております。

(伊藤委員) 今後の支援のところで、石狩教育振興会英語部会が中心となりうんぬんという文言、23年度からとあるのですが、それと5頁から先ほどからありました、各学校の希望内容等ありますが、教育委員会として、この外国語授業に関して得意だというか、何か窓口を設ける必要があるのではないかなという気がするのです。実際、21、22とやってきて、アンケートが出てきてこのように分かるのですが、今後は、まさに実際進むのですよね。そのなかで、こういった現場の声を、この八幡小学校の長い文章にもありますように、やっていくうちに、疑問なり問題なり出てくるのかなと、意見交換という話もありますが、各学校忙しい中で言ったら、本当に先生たちの意見交換が随時できるものなのかどうか、私はそこまでわからないんですが、教育委員会の中に、担当の職員なりそういった課の何人か集まって、当然休みとかもありますから、何人かでチームなりを組んで、意見を特にそこで研究してどうこう難しいことでは無しに、学校からの意見なり、先ほど教材を揃えるためという話がありましたが、教材にしてもどこかの学校で使ったものは、共有できるとすれば各学校同士のやりとりというよりは、

教育委員会の担当する方が、何かいい情報があれば、そこで集約して各学校で落として使うかどうか、そういった検討というのは仕事をしている中で、それが加重になって出来るか出来ないかわからないですけれども、検討する余地があるのではないかという気がするのですがいかがでしょうか。

(池田課長) 伊藤委員のご指摘に、私から述べさせていただきます。学習指導要領のこれまでの変更の歴史の中で、先ほど土井委員からもございましたが、総合学習、生活科が新設になったり、それぞれ教員の方々がそのタイミングで、必死にこの研修をされたり、その準備をしたり、そしてその積み重ねが今に至っている。また、今回外国語活動といった新しいテーマが生まれているところでございます。基本的に、私は、教育の専門家ではございませんが、先生方が教育のプロフェッショナルでいらっしゃる中で、この学習指導要領の内容をしっかりと理解した上で、子供への教育活動を実践される過程の中では、これは通常のこれまでの部分とあまり変わりはないのではないかという認識を持っております。この外国語活動自体が、特別に、今回、伊藤委員のおっしゃるような窓口を設けてそして行うべきかどうか、これは逆に言いますと、今度の石教振の英語部会自体が、こうしたことを求めてくるかというのがポイントかなと思っております。どうしても自分たちの活動の中での限界という部分があるのであれば、その部分について、私たちども積極的に支援していきたい。ただ、そこに至るまでの過程の中では、先生方が横の連絡を密に取ったうえで、そのことを公的行政機関の方に求めていただける、特に横の連絡、そして連携をしっかりと行っていただきたいという願いがございます。もちろん、そうした中で、担当窓口の設置ということが出されるのであれば、私どもは、真摯に検討させていただき施策に反映していく、こうした考えでいるのでございますが、どうでしょうか。

(伊藤委員) 池田課長の話は十分わかりましたので、当然、こちらで勝手に部署設けましたから、はいどうぞではなしに、今おっしゃったように現場の先生方の意見も聞いた上で、ただ、池田課長がおっしゃっていたように、先生方は教育の専門家だとお話されていましたが、確かに専門家でしょうけど、じゃあ、情報を集めたり、教材もそうですが使うのは先生方ですが、例えば、私たち一昨年でしたか教育委員の研修の中で、英語の授業をちよつとの時間ですが、道からきて研修をやった時にこういう教材でという授業を受けましたけれども、実際のところあの方々は、あの時は研修に呼んでくださいとおっしゃっていましたが、なかなか活用できたかどうかはわかりませんが、その中で使っていた教材はパソコンから打ち出してどうこうという話ですから、先生方の横のつながりが本当に素晴らしくいくのならいいのですが、やっぱり第三者というか、教員じゃない事務に特化した教育委員会の事務局の職員というのは、事務に特化しているのですよね。だからそういった情報の処理だとか、データのやり取りだとか、各学校に

情報をお知らせするっていうのは、逆に教員ではなくそちらの方が専門ですから、池田課長の意見も十分わかりますが、先生方のご意見も聞き、もし、そういうような要望、こういう考えもあるのだけどというようなところで、検討していただいて、教材作るために超勤するのでは、話がとんでもない話になりますから、そういった軽減をもしそういうことをやり取り出来るとすれば、それだけやる仕事の人を確保しなさいというわけではなくて、何人かのチームを作って、誰かかれかが、電話を受け、メールを受けて、情報のやり取りをしていただければ、そちらの方が効率もいいのかないところなのですが、私の意見としては、今ここで作りなさいって話では無しに、状況を聞いてやれるものであれば、これもまさに4月から始まるわけですから、やるとしたらもう期間が終わったわけですから、早期な対応をして作るとすれば次年度、24年度なんて話にならないような検討をしていただければと思うのですが。

(門馬委員) この種の事業といいますか、外国語活動というのは、誰もが初めて挑戦する活動なわけですし、この八幡小の長い文の最後にありますように、どこが着地点なのか、目的なのか、誰もわからない中でスタートするわけですね。試行錯誤を各学校で重ねながら、最終的には落ち着けるところに落ち着くのかなと、ただ、その過程で先生は大変に悩むであろうということは想像できますよね。それは、NHKの全国ニュースでも取り上げていましたが、そうだろうと思うのです。それに対して、教育委員会としてもいつでも支援するよというような手は広げておいていただきたいというのが私の希望です。

(中村委員長) 先ほどの池田課長の説明は、市教委全体の意見に近いのかもしれませんが、私も伊藤委員の意見に近い考え方です。この2年間石狩市は、本当に立派な取り組みをしてきたと思っております。今後、学校が希望する支援内容を短時間で把握してくれたことについて感謝しておりますが、今後の取組について石狩市教育振興会に託すのではなく、市教委自ら汗水して何とか協力したいという思いを発していくことが、市教委と学校との信頼関係を更に深める上で、大切なことであると考えております。そんな方向性も含め、ご協議いただければと思います。

(樋口教育長) 今回、英語サポート事業そのものの評価というのは、各学校が本当に、この2年間やっていただいてという部分で良かったという評価をいただいています。これは、これまで早く着目して、NPO教育支援協会のような形で、しっかりされた結果だと思っております。23年度から完全移行にするにあたって、各学校においてもNPOのサポートに加えて、相当数の校内研修を実証している。多いところでは、30回、30数回というような形で行っているところもあります。その一方で、学校によっては温度差があります。あるいは、担任で5・6年生をやっている所と、それ以外との部分の温度差とこれが率直なところであ

るというような形が事実だと思います。今いる5・6年生が、そのまま23年度から5・6年生を担当するわけではありませんから、確実に新しい先生が、そこに入ってくるというようなことを考えていた時に、校内研修をいかに充実していくか、それにまた、市教委がどう支援をしていくか、というようなサイクルが、一番必要ではないのかなと基本的に思います。ですから、先ほどからありますように、各学校で教材も含めていい点、あるいはこういうことをすることによって、より先生方が教えやすいですよというような連絡会議という部分については、速やかに作れますので、各学校で抱えている課題、あるいは、いい情報を提供すると、そういう部分は、年度当初からやっていきたいと思っております。しかしながら、各学校は、校内研修というような形をしてきたときに、これは道研であるとか、そういうところで英語力そのものをどう指導していくのか、というような部分で派遣を願う、あるいは、サマーセミナーのようなことで講習会を開く、あるいは、もっと違う部分で言えば、各学校において、教科担任制のような形を一部使いながらしっかり教えられる先生が5・6年生に教えていくという学校の努力も必要だと思います。ですから、ひとつの部分の組み合わせということではなく、ここで、要望が上がってきている内容について、連絡会議以外についても可能な部分は何点かありますので、委員長おっしゃられるような部分で、可能な限りそういうものを拾いながら、応えていくというような形に尽きるのではないかと思います。

(中村委員長) ありがとうございます。委員の皆さんの気持ちを教育長が受け止めてくださったので、ご期待申し上げたいと思います。

(土井委員) 今の話を聞きながら、これでだけの2年間の支援をしていただいたことは、石狩市として素晴らしいことだなと思います。その中心にいたのは、池田課長だったと思うのです。ですから、さっき伊藤委員が言ったようなことは、一手に池田課長がやっていたのかなと知っているのですが、それをチームでやるとすると、他の人の仕事が重なるとか、皆さん仕事が忙しい中で先生方の意見を聞きながら、こういうことができた、また、このようにいろんな成果もみえたというのは、池田課長の努力だったのではないかな。多くの先生方、校長先生を知っているので、英語については、すごく良くやってもらっているという話をよく聞きました。その中に池田課長の話がよく出てきたので、池田課長が先生方の話を聞きながら、委員会にこうやって出して頑張っていたいただいたものを感じたものですから、池田課長にお礼を言いたいなと思ひまして、発言させていただきました。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは協議事項の②を了解しました。

③ 学校図書館等整備基本方針について

(中村委員長) ③学校図書館等整備基本方針について、事務局から説明をお願いします。

(丹羽副館長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(中村委員長) 学校図書館の整備について、議会の議論の過程で年度内に方針を示したい旨の答弁をしており、日程的には厳しい中で協議を進める必要が生じたので、そうした背景等を踏まえご意見等をいただければと思います。

(土井委員) これは、昨日見せてもらったので、あまり時間がなかったのですが確認させていただきました。今、お話した資料の5番からですが、これについて見てすごいなということでびっくりし、感動いたしておりました。以前、どこの学校でも司書を置いてほしいといった記憶があるのですが、私が、最初に教員になりたてのころだったのですが、これを見ると司書教諭の存在感というか、子供たちの学力向上にすごく活躍しているなあというのを思いまして、今年は、予算の問題もありますが、人的配置ですから、司書さんを各学校に入れるとかなりのお金が必要になるということもありますけど、なるべくつけていただきたいと思います。また、大きな学校でいくと、南小がまだですよ。それから中学校も大きな中学校には必ず入れた方が、きっと読書好きの子供、あるいは読書による学力向上につながるかなど。心も豊かになるというように思っておりますので、是非お願いしたいと思います。

(門馬委員) 学校司書が配置されるというのは、まさに理想的なことですが、予算の面で難しいというのは、現実問題として立ちほだかることなのかなという気がしますが、そこで地域との連携についての中に、地域人材の活用というのがありますね。特に花川地区なんかにはいい人材がたくさんいらっしゃるであろうと思いますので、そういう人材を有効活用できないものでしょうか。うまくやっていただきたいというのが願いでございます。

(伊藤委員) まさにその通りだと思います。図書館自体も市長の挨拶でも、相当な頻度で出ますが、非常に全国からも注目を浴びていい図書館で、その関連のところですから、やっぱり最後は人なのではないでしょうか。私らも本当はここでもっといい意見が出せればいいのですが、なかなかそうもいかないのを検討していただければなと思いますので、よろしく願いいたします。

(中村委員長) 双葉小でのアンケート調査の結果、こういうような形で裏付けられましたので、今後の政策に反映していくことが何よりも大切であります。この

整備基本方針には、そういったことをきっちり生かしていただいておりますが、一方私どもが夏に視察した市民図書館厚田分館の課題について、一切触れられていませんので、3月末までの間に検討を深め盛り込んでいただきたいのであります。厚田分館については、既に議会答弁もしており約束を果たす必要があると思います。市教委は、学力向上を図る上で、学校も地域も家庭もそれぞれ取り組むこととしておりますが、学校司書の充実は最重要課題の一つであります。整備基本方針の策定過程では、財政部局との合意形成が必要となりますが、難しいところは表現を薄めながらも、先ずは走り出すことが大切であると考えております。是非頑張ってくださいと思います。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは、協議事項の③を了解しました。

(中村委員長) 以上で、日程第4 協議事項を終了します。

日程第5 報告事項

(中村委員長) 日程第5 報告事項を議題とします。

① 平成22年度石狩市・恩納村中学生交流事業について

(中村委員長) ①平成22年度石狩市・恩納村中学生交流事業について、事務局から説明をお願いします。

(新関課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(中村委員長) 先ほどの話では28日の歓迎式典に、門馬委員が出席していただけたとのことでございます。よろしく願い申し上げます。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは、報告事項①を了解しました。

② インフルエンザ様疾患による臨時休業の状況について

(中村委員長) ②インフルエンザ様疾患による臨時休業の状況について、事務局から説明をお願いします。

(池田課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答 なし

(中村委員長) ご質問等がないようですので、報告事項②を了解しました。

③ 平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

(中村委員長) ③平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、事務局から説明をお願いします。

(三国部長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(土井委員) 学校質問紙の体育の授業以外での体力の向上に係る取り組みをしているのが多いですね。

(三国部長) 体力向上の内容についての調査を行っています。小学校では、例えば、運動会の前に各クラス対抗とか、競技の練習を昼休みとかにやっているとかが、こういう形になります。中学校も良く見ると、体育祭ではクラス対抗とかがありますので、昼休みや放課後に練習するとか、部活とは違った取り組みということになります。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは、報告事項の③を了解しました。

④ 給食費改定による栄養価等の状況について

(中村委員長) ④給食費改定による栄養価等の状況について、事務局から説明をお願いします。

(桜田センター長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑応答

(土井委員) 前にも言ったのですが、地産地消というか石狩のもの、例えば果物であればイチゴだとか、リンゴだとか、お米だとかお魚、きっと故郷給食ということで行っていますけれども、この間もラーメンやっていますね。そうい

うのもたくさん使われるようになればいいなど。その辺は、今の実態としてどうですか。

(桜田センター長) 現在も給食の中で特に石狩デーというものを設けまして、望来豚は、特に子供たちに人気があって、地元の食材を使ってやっていますけれども、基本的に地元の食材を使うのも季節的に限られています。栄養教諭の考えの中では、まず、第一義的には地元の食材を使うということで、JAと常に協議してやってきております。

(中村委員長) 他にございませんか。それでは、報告事項の④を了解しました。

報告事項⑤の審査を秘密会とする件について

(中村委員長) 次に、⑤の「交通事故に係る和解及び損害賠償の決定に関する件」については、教育委員会会議規則第15条第1項第10号に該当しますので、秘密会とし審査いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、秘密会とすることに決定し、後ほど審査します。

(中村委員長) 以上で、日程第5 報告事項を終了します。

日程第6 その他

(中村委員長) 日程第6 その他を議題とします。

(中村委員長) 事務局からございませんか。

① 公民館まつりについて

(東課長) 私からは、公民館まつりについて、ご報告を申し上げたいと思います。別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

なし

(中村委員長) 他にございませんか。委員の皆さんからございませんか。

なし

(中村委員長) 以上で、日程第6 その他を終了いたします。

日程第7 次回定例会の開催について

(中村委員長) 日程第7 次回会議の開催日程を議題とします。

(中村委員長) 平成23年3月23日の水曜日、14時30分からの開催を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(中村委員長) 以上をもちまして公開案件は、終了いたします。秘密会案件の説明員以外の方は、ご退席をお願いいたします。

【秘密会】

(中村委員長) ただいまから、教育委員会会議規則第15条に基づき、秘密会を開催いたします。

(中村委員長) 日程第2 議案第1号乃至第3号を審議いたします。

議案第1号 平成22年度一般会計補正予算(第9号補正)について(秘密会)

(中村委員長) 議案第1号「平成22年度一般会計補正予算(第9号補正)について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、平成23年第1回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4項の規定に基づき、議決を求めます。

(三国部長) 平成22年度一般会計補正予算(第9号補正)の内容を説明。

(中村委員長) ただいま説明がありました議案第1号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第1号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第1号については、原案どおり可決しました。

議案第2号 平成23年度一般会計予算について(秘密会)

(中村委員長) 議案第2号「平成23年度一般会計予算について」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、平成23年第1回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4項の規定に基づき、議決を求めます。

(三国部長) 平成23年度一般会計予算の内容を説明。

(中村委員長) ただいま提案説明がありました議案第2号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第2号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第2号については、原案どおり可決しました。

議案第3号 石狩市条例の整備に関する条例について(石狩市公民館条例の一部改正について)(秘密会)

(中村委員長) 議案第3号「石狩市条例の整備に関する条例について(石狩市公民館条例の一部改正について)」、提案願います。

(樋口教育長) このことについて、全庁的な行政手続基準の見直しにより、是正

という統一的な観点から条例改正を行うこととなったため、該当する石狩市公民館条例の一部改正について、平成23年第1回石狩市議会定例会に提案するため、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第4項の規定に基づき、議決を求めるものであります。

(東課長) 議案第3号「石狩市条例の整備に関する条例について(石狩市公民館条例の一部改正について)」の内容を説明。

(中村委員長) ただいま説明がありました議案第2号について、ご質疑等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他に質疑等がないようですので、議案第3号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

(中村委員長) ご異議なしと認め、議案第3号については、原案どおり可決しました。

(中村委員長) 以上で、日程第2 議案審議を終了します。

(中村委員長) 日程第5 報告事項を議題とします。

日程第5 報告事項

⑤ 交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について(秘密会)

(中村委員長) ⑤交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について、事務局から説明願います。

(新井浜益生涯学習課長) 別紙資料により説明する。

(中村委員長) ただいま事務局より説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

質疑等省略

(中村委員長) 他にございませんか。それでは、報告事項⑤を了解しました。

(中村委員長) 日程第5 報告事項を終了します。

閉会宣告

(中村委員長) 以上をもちまして、2月の定例会の全ての議題は終了いたしました。本日は、これをもちまして閉会いたします。

会議録署名

平成23年3月23日

委員長 中村 照 男

署名委員 土 井 久美子